



Display Share 2

Optoma Solution Suite

著作権

本書は、写真・図版・ソフトウェアを含むすべての内容が国際著作権法により保護されており、権利はすべて留保されています。著者の書面による事前の許可なく、本マニュアルおよび本書に含まれるいかなる資料も複製することはできません。

© Copyright 2026

免責事項

本書の内容は、予告なく変更される場合があります。製造元は、本書に記載された内容についていかなる表明または保証も行わず、商品性や特定目的への適合性に関する黙示の保証を含め、あらゆる黙示保証を明確に否認します。製造元は、本書を改訂し、必要に応じて内容を随時変更する権利を留保します。これらの改訂または変更について、製造元は第三者へ通知する義務を負いません。

目次

Display Share2 を始める	4
はじめに	4
Display Share2 レシーバー概要	5
レシーバー表示の設定	6
モデレーターコントロールセンター	7
ディスプレイグループ設定（1 対多）	9
Display Share2 アプリをダウンロード	10
インストール	10
Display Share2 モバイルアプリの主要機能	11
PC クライアント（Windows & Mac）の主要機能	18
ネイティブ連携（アプリ不要）	20
よくある質問	22

Display Share 2 を始める

はじめに

Display Share 2 は、会議室や教室、共同作業の場での画面共有をより手軽にするために設計された、ワイヤレスのプレゼンテーション／コラボレーションソリューションです。専用クライアントアプリに加え、アプリ不要で使える標準のキャスト方式にも対応し、PC・スマートフォン・タブレットのコンテンツを受信側ディスプレイへ共有できます。

Display Share 2 は、Windows、macOS、iOS、Android、Ubuntu に対応し、AirPlay／Miracast／Google Cast などの標準機能も利用可能です。これにより、使い勝手を統一したまま、状況に合わせて柔軟に接続方法を選べます。さらに、モデレーター管理、マルチディスプレイ同期、注釈、リモート操作といった高度な機能で、セッション運用、セキュリティ、共同作業の効率をいっそう高めます

Display Share 2 レシーバー 概要

Display Share 2 Receiver のホーム画面は、ワイヤレス画面共有とコラボレーションの起点となるメイン画面です。この画面では、接続に必要な情報を確認でき、受信機能の主要操作へすばやくアクセスできます。

注：本ユーザーマニュアルでは：

- 受信機（RX）は、コンテンツを受信して表示するデバイスを指します。
- 送信機（TX）は、画面コンテンツを送信するデバイスを指します。



画面中央には、デバイス名とIPアドレスが表示されます。これにより、接続先の受信機を簡単に確認できます。会議室や教室など、複数のディスプレイがある環境で特に便利です。

画面左下にはQRコードが表示されます。モバイル端末でQRコードを読み取ることで、接続情報を手動で入力せずに、受信機へすばやく接続できます。通常の利用者だけでなく、来訪者も簡単に接続できます。

画面上の案内に従って、必要なクライアントアプリケーションをダウンロードするか、対応するワイヤレスプレゼンテーション機能を使用して、画面共有を開始してください。

画面右下には、受信機的主要機能にアクセスするための3つのボタンが表示されます。

RX側の主な機能：

- Display Group Settings: 複数ディスプレイの同期設定を行います
- Moderator Control Center: 高度なセッション管理を行います。
- Settings: 受信機の各種設定およびセキュリティ設定を行います。

レシーバー表示の設定

[設定] メニューでは、管理者がセキュリティ、性能、使いやすさの要件に合わせて Display Share 2 レシーバーを設定・カスタマイズできます。このメニューから、接続の動作、表示オプション、システム起動時の設定、対応するキャストプロトコルを管理できます。



設定オプション

- a. 接続モード: 接続のセキュリティレベル(デバイス名、PIN、またはパスワード)を設定します。
- b. パスワード: 接続パスワードの表示、編集、更新ができます。更新間隔も調整可能です。
- c. デバイス名フローティングウィンドウ: デバイス名を表示するフローティングウィンドウを、有効 / 無効にします。
- d. 分割画面モード: 同時に接続できるデバイスの最大数を設定します。
- e. ディスプレイモード: レンダリングモードを選択します。(自動 / パフォーマンス / 互換性)
- f. ミラーリングソース名を表示: 画面共有中にキャスト元デバイス名を表示します。
- g. 自動フルスクリーン: 画面共有開始時に自動でフルスクリーンにするかどうかを、有効 / 無効にします。
- h. 起動時の自動起動: システム起動時に Display Share2 を自動的に起動します。
- i. アプリ不要の接続の切り替えができます。
DLNA、AirPlay などの標準キャストプロトコルの有効 / 無効を設定します。
Miracast、Google Cast。
- j. 管理者ロック: 設定メニューをパスワードで保護し、許可の無い変更を防ぎます。
- k. アップデートを確認: ソフトウェア更新が利用可能かどうかを確認します。

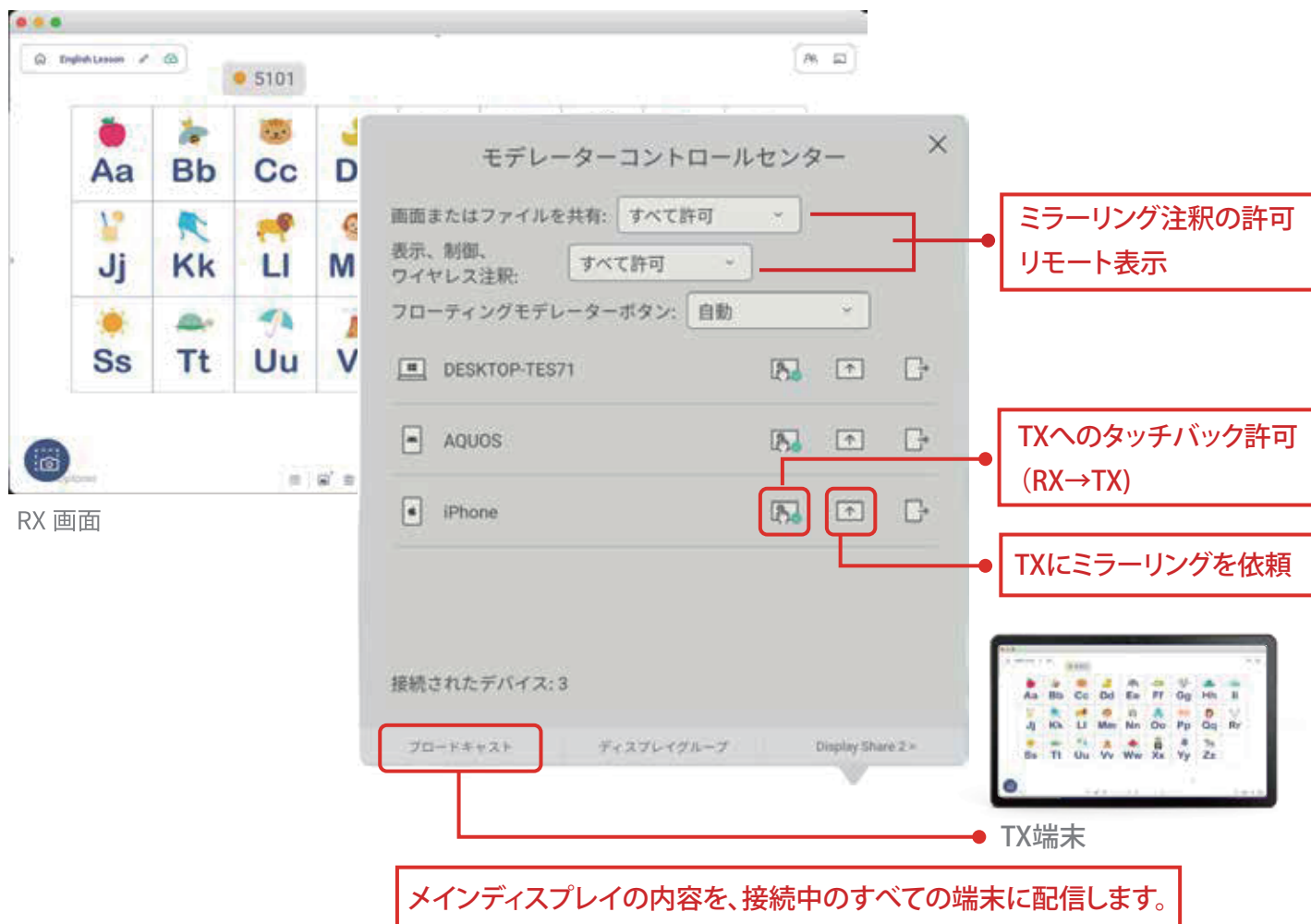
モデレーターコントロールセンター

「モデレーター」ボタンをクリックしてコントロールセンターを起動します。

プレゼンや授業を思いのままに管理でき、以下の操作が行えます。

- 画像またはファイルを共有: 共有リクエストの承認/拒否、受信したリクエストを承認または拒否して管理します。
コンテンツにはモデレーターが明示的に承認した場合のみ共有されます。
- 表示、制御、ワイヤレス注釈: 接続中のユーザーを選択し、ワンクリックで画面共有を開始する招待を送信します。
- 権限の管理: 必要に応じてユーザーごとに捜査権限や注釈権限を付与/取り消しができます。
- 注釈の制御: 注釈権限を個別に有効/無効にでき画面操作権限を付与しなくても選択したユーザーに注釈のみ許可できます。
- ユーザーの切断: ユーザーのセッションを囚虜します。
- ブロードキャスト: メインディスプレイの内容を接続中のすべての端末へ配信し、参加者全員が同じ画面をリアルタイムで確認できるようにします。





ディスプレイグループ設定（1対多）

表示グループ機能を使うと、複数の Display Share 2 レシーバーへ同時にコンテンツを同期し、まとめて配信できます。

同じ内容を複数の画面に同時表示したい教室・会議場・展示スペースなどの大規模な場所での利用を想定しています。

複数のレシーバーをグループ化すると、メイン表示がマスター画面として動作し、グループ内の各画面は選択した設定に従って同じコンテンツと動作に同期します。

- a. ディスプレイを複製：このオプションを有効にすると、メイン画面の内容をグループ内のすべての画面へリアルタイムで複製表示します。

選択できるオプション：

- ・無効
- ・HDモード
- ・UHDモード
- ・画面共有中のみ有効

- b. ディスプレイグループへの参加の招待：表示グループへの招待の扱いを設定します。

- ・自動承諾：受信した表示グループの招待を自動で承諾します。
- ・通知する：招待を承諾するか拒否するかをユーザーが手動で選択するよう促します。
- ・無効：表示グループの招待をすべて拒否します。

- c. デバイスリスト：ネットワーク上で利用可能なDisplay Share2受信機を確認し、表示グループに参加させるデバイスを選択します。

複数のデバイスを選択してグループで同期できます。



Display Share2 アプリをダウンロード

クライアント端末の Display Share 2 アプリを使えば、投影（キャスト）とコラボレーション機能をフルに利用できます。標準のキャスト方式に比べ、TX アプリでは画面操作、注釈（書き込み）、ワイヤレスカメラ、リモートコントロールなどの高度な機能が使えます。

注：本ユーザーマニュアルでは：

- 受信機（RX）は、コンテンツを受信して表示するデバイスを指します。
- 送信機（TX）は、画面コンテンツを送信するデバイスを指します。

Web ブラウザーで <https://download.optoma.com/software> にアクセスし、お使いの端末（Windows、macOS、iOS、Android）に合ったアプリをダウンロードしてインストールしてください。

はじめに、クライアント端末が Display Share 2 受信機と同じネットワークに接続されていることを確認してください。

端末を接続する

アプリをインストールしたら Display Share 2 アプリを起動し、次のいずれかの方法で受信機に接続します。

- a. デバイス名で接続: アプリがネットワーク上の利用可能な受信機を自動で検出します。
接続したいデバイス名を選ぶだけで接続できます。
- b. PIN コードで接続: セキュリティを高めるため、受信機の画面に表示されるPIN コードを入力して、認証済みの接続を確立します。
- c. IP アドレスで接続: 複雑または制限のあるネットワーク環境では、メイン画面に表示されている受信機のIP アドレスを手動で入力します。
- d. QR コードで接続（モバイル）: 最速で接続するには、ディスプレイ上のQR コードをスキャンします。

参考：

PIN 接続を使用するには、まず Display Share 2 の設定で有効にしてください。

- 6 桁の PIN はローカルネットワーク接続用です。
- 8 文字の PIN は、異なるネットワークサブネット間でも安全に接続できます

Display Share2 モバイルアプリの主要機能

Display Share 2 のモバイルクライアントは、基本的な画面ミラーリングにとどまらない充実のツールを備えています。

会議や教室、共有スペースで、プレゼン、操作、注釈の書き込み、共同作業をワイヤレスで行えます。

ミラーリング (画面共有) : スマートフォンの画面を Display Share 2 RX (受信機) のディスプレイに共有します。
[画面共有] をタップすると、アプリ、プレゼン資料、Web コンテンツなど、端末に表示されている内容がすべて Display Share 2 RX (受信機) のディスプレイへリアルタイムでミラー表示されます。

このモードは、ライブデモ、素早い共有、個人でのプレゼンテーションに最適です。

共有を開始すると、いつでもセッションを終了できるように [共有を停止] ボタンが表示されます。



※ 画像は iPhone 端末です。

TV ミラー：モバイル端末から受信機の画面をそのまま表示し、操作できます。TV ミラーを使うと、モバイル端末が受信機ディスプレイの操作パネルとして機能します。

RX（受信機）画面に映っている内容を正確に確認しながら、離れた場所から操作可能です。発表者がディスプレイの近くにいない場合に、特に便利なモードです。



※ 画像は iPhone 端末です。

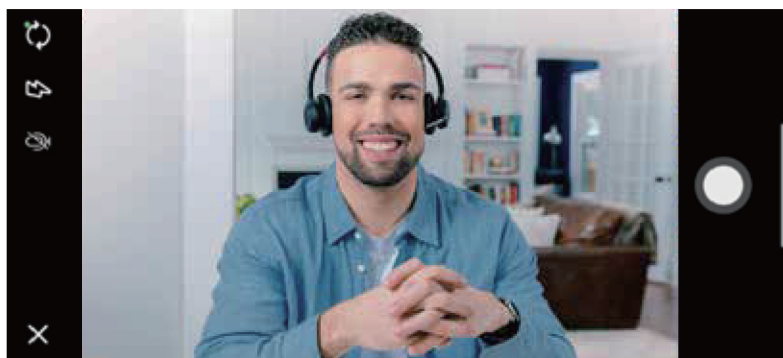
- ・ ホーム: Android のホーム画面に戻ります。
- ・ 戻る: 前の手順に戻ります。
- ・ ファイルをアップロード: スマホ内の写真・音声/ 動画・各種ファイルを Display Share2 に送信して表示します。
- ・ タッチ: タッチ操作を有効にし、マウスカーソルを表示します。
- ・ 注釈: 現在の画面に注釈を書き込めます。
- ・ 注釈を消去: 書き込んだ注釈を消去できます。
- ・ ワイヤレスカメラ: スマホのカメラ映像を呼び出し、Display Share 2 の RX (受信機) 側にリアルタイム表示します。
- ・ スクリーンショット: 現在の画面をキャプチャし、モバイル端末に自動保存します。

ワイヤレスカメラ: お使いのスマートフォンをワイヤレス書画カメラに変身させます。

ワイヤレスカメラは、スマートフォンの映像をDisplay Share 2 レシーバーへライブ配信し、スマートフォンを持ち運べる書画カメラとして活用できます。

この機能は、次のような場面に最適です。

- 紙の資料や本を映す
- 物体をリアルタイムで実演する
- 遠隔での授業や研修の実施



※ 画像は iPhone 端末です。

カメラ映像は遅延を最小限に抑え、RX (受信機) 画面にほぼ即時表示されます。

リモコン:スマホを高機能なリモコンとして使えます。

リモコン機能では、複数の入力モードで受信機の画面を操作できます。

マウス:カーソルを動かしてクリック

タッチパッド:タッチ操作（ジェスチャー）を実行

キー:

- 方向キー（上／下／左／右）で移動操作）
- Page Up / Page Down キー：プレゼンテーションモード時に使用可能。
- OK：クリックとして動作。
- カスタムキー：よく使うアプリに合わせて設定可能。

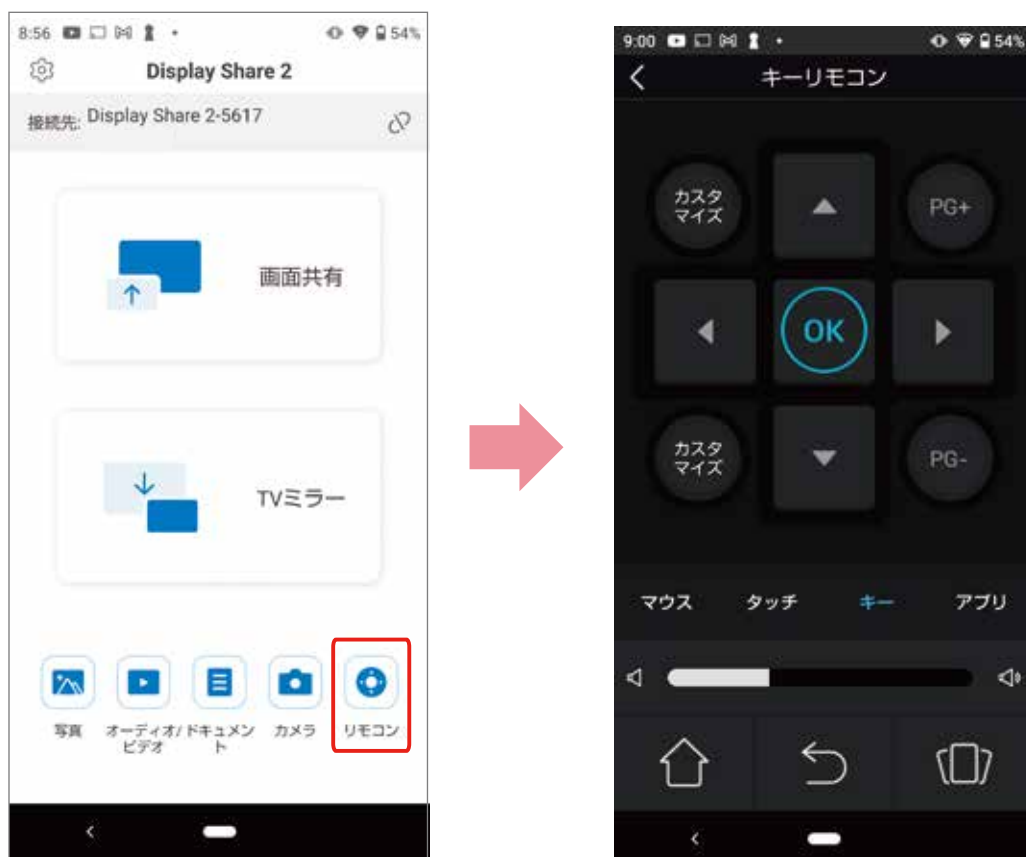
アプリ:受信端末上のアプリ操作にアクセス

グローバルキー:

- ホーム:受信端末のホーム画面に戻る。
- 前のページ:受信機デバイスで直前に表示していたページに戻ります。
- エアマウス:クライアント端末を回転させたり動かししたりして、カーソルを操作します。

この機能は、プレゼンテーションや対話型セッションでの正確な移動・操作を想定して設計されています。

【Android 端末】



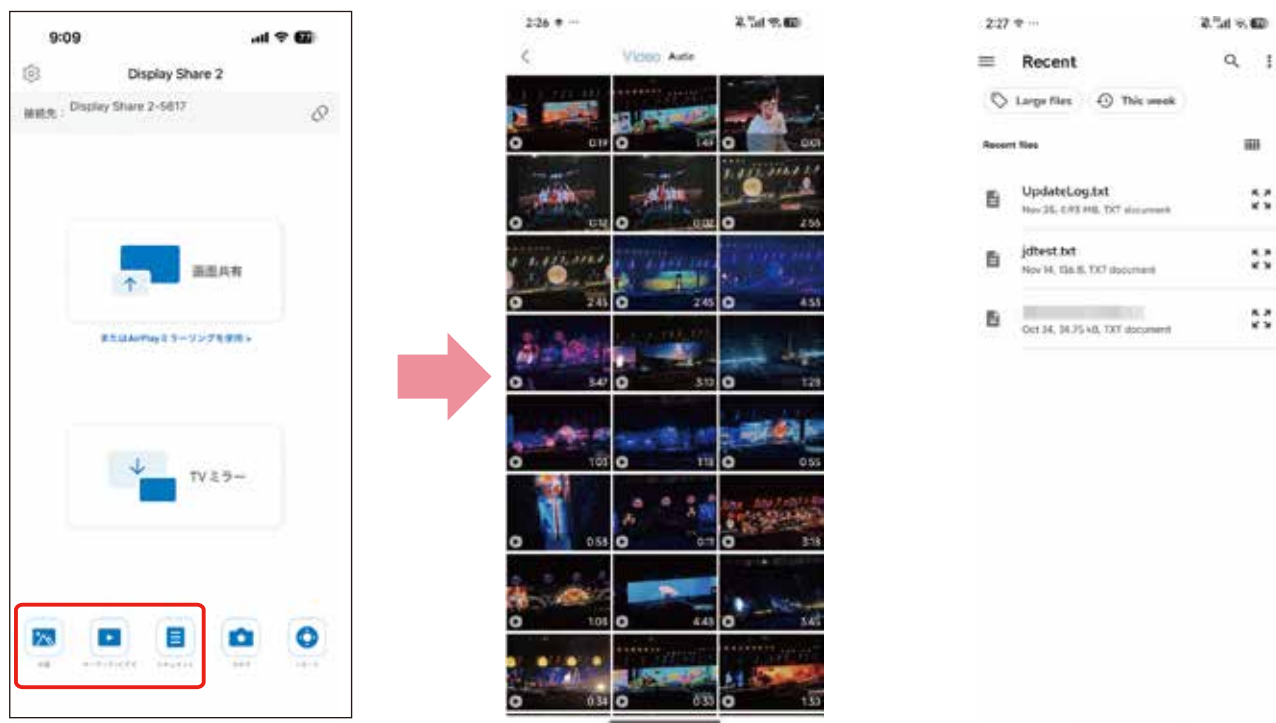
【iPhone】



ファイルをストリーミング:スマートフォン内の写真、音声／動画、各種ファイルを受信側へ送信し、表示できます。

この機能でできること:

- ファイルベースのクイックなプレゼンテーション。
- 画面ミラーリングなしでのメディア再生。
- すっきりと、気が散らないコンテンツ共有。



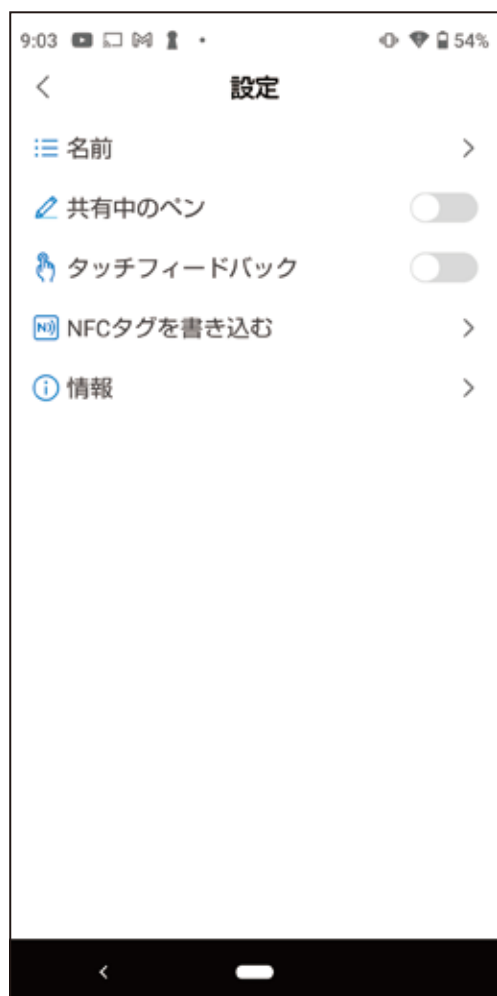
注：注：iOS クライアント端末では、音声ソースは Apple Music のみに限定されます。

設定: モバイルクライアント左上の「設定」ボタンをタップすると、ユーザー名の確認・変更や、クライアントのバージョン情報を確認できます。

- 共有中のペン：画面投影の注釈機能です。有効にすると、投影中の画面へリアルタイムで書き込みできます。
- タッチフィードバック：この機能を有効にすると、Display Share 2 の RX 側から
- Android TX の投影画面を操作できます。
- NFC タグに書き込み：受信側の IP 情報を NFC タグに書き込み、ワンタップで画面投影できるようにします。
- バージョン情報：クライアントのバージョン情報を確認できます。

これらの設定により、操作体験を自分好みに調整し、共同作業の流れをよりスムーズにできます。

【Android 端末】



【iPhone】



PC クライアント (Windows & Mac) の主要機能

ミラーリング (画面共有) : PC の画面全体をDisplay Share 2 のディスプレイに共有します。



全画面共有／拡張画面共有: Windows／Mac 向け Display Share 2クライアントアプリでは、「ソース」を選択して全画面または拡張画面を共有できます。

TV ミラー: 「TVミラー」ボタンをクリックすると、Windows／Macノート PC で受信機の画面を表示できます。さらに、受信機の画面をタッチ操作して注釈を書き込むことも可能です。



- ホーム:受信側ディスプレイのホーム画面に戻ります
- 戻る:前の手順に戻ります 17
- 注釈:現在の画面に書き込みできます
- 注釈をクリア:注釈のマークを消去します
- 注釈スイート (Windows のみ):注釈ツールを利用し、書き込み済みの内容をノート PC へ直接保存して、後から確認できます。
- クイックキャストショートカット (Windows のみ):任意の受信側ディスプレイへのデスクトップショートカットを作成できます。次回からはダブルクリックするだけで接続して、すぐにキャストできます。



ネイティブ連携（アプリ不要）

Display Share 2は主要なキャスト機能に対応しており、ソフトをインストールせずに使用することもできます。ゲストユーザーや、アプリのインストールが制限されている端末からでも、迷わずすぐに画面を共有できます。

【AirPlay】

AirPlay は macOS/iOS/iPadOS に標準搭載。iPhone や MacBook のコンテンツを手早く共有するのに最適です。

接続方法：

1. デバイスでコントロールセンターを開きます。
2. 「画面ミラーリング」アイコンをタップします。
3. 一覧から Display Share 2 の受信機名を選択します。

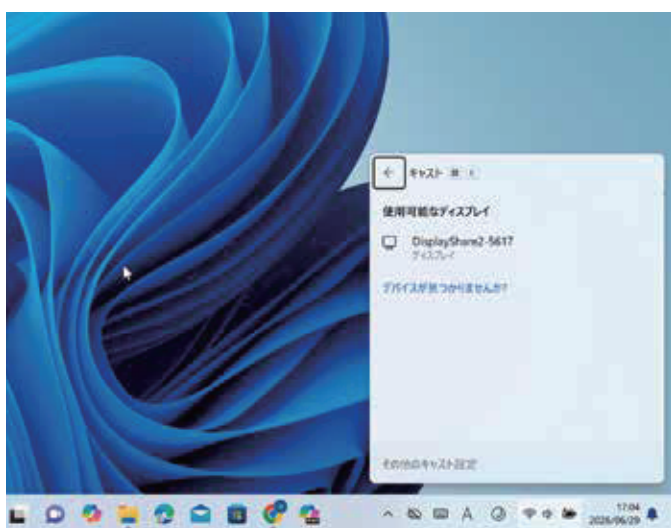


【Miracast】

Miracast は、Windows と Android に標準搭載されているワイヤレスディスプレイ規格です。同じネットワークに接続していなくても、端末同士で直接（ピアツーピア）画面共有ができます。

接続方法：

1. a. Windows PC では Win+K を押します。
2. b. Android では「キャスト」／「Smart View」を開きます。
3. c. 受信側ディスプレイを検索します。
4. d. 一覧から Display Share 2 受信機の名前を選択します。



※ うまく動作しない場合は互換モードをオンにしてください。

【Google Cast】

Chrome ブラウザと Chrome OS に標準搭載されている Google Cast は、コンテンツをメイン画面に手軽に共有できる便利な機能です。

接続方法：

1. Google Chrome ブラウザを開きます。
2. キャストアイコンをクリックします。
3. 共有したい内容を選びます（例："キャスト"）。
4. 一覧から Display Share 2 の受信先名を選択します。



よくある質問

Chrome ブラウザと Chrome OS に標準搭載されている Google Cast は、コンテンツをメイン画面に手軽に共有できる便利な機能です。

一部の配信サービスでは、DRM (デジタル著作権管理) 保護のため画面ミラーリングを制限しています。DRM が有効な場合、コンテンツ提供元の仕様によりワイヤレスミラーリングや画面キャプチャがブロックされることがあります。

Display Share 2 はどのデバイスに対応していますか？

Display Share 2 の対応環境：

- Windows / macOS (クライアントアプリ)
- iOS / iPadOS / Android (クライアントアプリ) 20
- 標準キャストプロトコル：AirPlay、Miracast、Google Cast (アプリ不要)

Display Share のミラーリングが時々遅いのですが、どうしてですか？

パフォーマンスは、ネットワーク帯域、Wi-Fi の安定性、端末性能、または選択しているレンダリングモードの影響を受ける場合があります。安定性を高めるには、設定でデバイスモード (自動 / パフォーマンス / 互換性) を調整してください。

ワイヤレス投影がたまに遅延するのはなぜですか？

ワイヤレス投影は、ネットワークでのリアルタイム伝送に依存します。回線の混雑や電波干渉、高解像度コンテンツの影響で遅延が発生することがあります。安定したネットワークを使用し、同時接続数を減らすと改善する場合があります。

Display Share アプリでデバイス (IFP) が見つからないのはなぜですか？

次の点をご確認ください：

- 送信側デバイスと表示機器が同じネットワークに接続されている
- Display Share 2 が表示機器側で起動している
- ファイアウォールやネットワーク分離の設定でデバイス検出がブロックされていない

表示機器側で Display Share を起動している場合は、該当する TX アプリケーション をこちらからダウンロードしてください：<https://download.optoma.com/software/>

※ Display Share と Display Share 2 には互換性がなく、それぞれのバージョンに専用の TX アプリケーションが必要です。

